



JR日根野駅前ボランティア活動

泉佐野市は大阪府の南部にあって、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置しており、背後に一部が金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁し、豊富で良質な水に育まれた水ナスや、泉州たまねぎが盛んに栽培され、さらに、泉州タオルは全国でシェア42%を占めるわが国有数の産地になっております。また、眼前には茅渟の海と謳われた大阪湾に面しており、舌ヒラメや、シヤコなど水産物にも恵まれたまちです。

また、本市は関西国際空港の玄関都市としての役割も担っており、ローコストキャリアLCCの就航が相次ぎ、本市を来訪するインバウンド客も増加しております。

本市における花いっぱい運動は、南海泉佐野駅周辺、JR日根野駅前、りんくうタウン駅前の広場や、道路の歩道植栽帯などに、市民のボランティアの方々の協力でたくさんの花や、桜の木などを育て管理いただいております。また、市内小学校や、中学校からもプランターに育てた花を大会に提供いただき、市民の協力を得て良好な緑の街の形成に寄与しております。

国道481号線側道の植栽帯
(高松南町C)

今後は、行政、市民がさらに一体となった取り組みで花や緑を広げること、大会開催を目指します。

第59回全日本花いっぱい泉佐野大会を開催することは大変意義があるものと考えており、「緑あふれる泉佐野」を形成し、また「花いっぱい運動をきっかけに、日本全国からの大会参加者のみならず、海外からのインバウンド客にも世界の共通語となりました「花いっぱい」を泉佐野市から、全世界へ運動が広がればと考えます。

本大会は、平成31年4月6日に開催されます。大会式典や各種コンテスト、花の実などを予定しておりますが、また、桜の時期でもあります。市内の大井関公園は、大阪緑の百選にも選ばれた名所でもあります。たくさんのお花とともに大会メイン会場周辺の桜の木も全国の花いっぱい運動に携わっていただけるみなさまをお待ちしております。

ぜひ一度、自然の恵みを大切に、明るい国際都市を目指す泉佐野へおこしく下さい。

第59回全日本花いっぱい 泉佐野大会に向けて

泉佐野市 都市整備部 道路公園課

市立第二小学校付近の活動
(メルシークラブ)

総合体育館周辺の
植栽の様子



総合体育館周辺の草取り作業



全日本花いっぱい
尾道大会の会場にて

花巻市

花のきれいな花巻市へ

花巻市花と緑の会 会長 大菅孝夫

「花巻市花と緑の会」は、岩手県の中央部に位置する花巻市にある、市の名前にふさわしい「四季折々の花と豊かな緑に囲まれた明るく健康で住みよいまちづくり」を目指して活動している団体です。「花巻市花と緑の会」は昭和49年に設立され、現在は112名の会員が活動しています。

「花巻市花と緑の会」では、平成28年に開催された岩手国体の会場となった花巻市総合体育館の前に毎年約2千本のマリーゴールドを植え、花いっぱい運動の取り組みを実践しています。

今年も5月末に多くの会員が参加し、黄色と橙色のマリーゴールドを植えたほか、今年は、小ぶりでたくさん黄色の花をつけるミニレモンという新たな品種の栽培にも取り組み、徐々に花が育っていくのを楽しみに見ております。

7月13日にはあいにくの天候ながらも多数の会員が集まり、花巻出身の詩人で童話作家の宮沢賢治の有名な作である「雨ニモ負ケズ」さながらに草取りを行いました。

さて、最近、花巻と聞いて連想されるのは、高校野球で甲子園にたびたび

出場して上位に進出し、米大リーグのエンゼルスで活躍する投打の「二刀流」こと大谷翔平選手や、パリーグの埼玉西武ライオンズのエースである菊池雄星選手らを輩出した花巻東高校ではないでしょうか。紹介した花壇は、この花巻東高校から歩いて数分のところにあります。

さらに、今年からは新たに、花巻市役所の前に配置しているプランターでも花植えの活動を行い、花いっぱい運動に積極的に取り組んでいます。

これからも、私たちの生活の傍らに花と緑があり続け、花を慈しみながら豊かな生活環境を育てていけるよう、活動を続けていきたいと思っております。



花巻東高等学校周辺のマリーゴールド



花だんと作品の表彰式



花植え活動



講習会

青森市 青森市緑と花の まちづくり推進 市民協議会のご紹介



青森市緑と花のまちづくり推進市民協議会は、昭和47年、緑化に明るい学識経験者及びバラ会、菊花研究会、小中学校校長会などから役員を迎え、市民会員を募って設立されました。

設立趣意書により「都市化の現象は自然を破壊し生活環境を汚し緑の消失は年とともに激増し憂慮される現状にある。(中略)緑は市民の心の中に自

然をもたらずと同時に生命財産を守り生活を豊かにしている。(中略)緑と花のまちづくりは一朝にして完成するものではなく市と市民が一体となり市民運動としての盛り上がりがあったこそ初めて効果を発揮することは当然のこと(中略)緑と花のまちづくりを市民運動として展開し緑化意識の高揚と道徳心の向上を図るためこの協議会を設立するものである。」

以来、協議会事業として、学校や地域・企業・個人宅までの「花だんコンクール」の開催や小中学生を主体とした図画・標語等の「緑と花をテーマとした作品コンクール」、花だんづくりやバラ・菊の育て方などの「各種講習会」等々、緑化意識の高揚を図るとともに、会

員による公園の花植えなどのボランティア活動を実践してきます。また、市事業との連携を図りつつ、「緑と花の市」での緑化相談所の開設、市民自慢の花だんを紹介する「花だん写真展」を対象とした表彰、地域の花だんづくりを支援する「地域花いっぱいまちづくり事業」の指導者派遣などなど、市主催事業を盛り立てています。

少子高齢化や会員の減少等ありますが、原点を見返しつつ緑と花のある明るいまちづくりを目指しています。



第58回全日本花いっぱい尾道大会

尾道市制施行120周年記念

第58回全日本花いっぱい尾道大会を開催しました。



フラワーカーペット



花と緑のふれあい広場

平成30年6月2日(土)・3日(日)に尾道市で市制施行120周年記念事業として全国大会を開催しました。

しまなみ交流館で開催した記念式典には、市内外から約550人の参加がありました。



オープニングアトラクション
(市内各地域の子どもたち)



尾道大会実行委員会会長
平谷尾道市長あいさつ



大会旗リレー
平谷尾道市長から菅谷会長、千代松泉佐野市長へ



エンディングアトラクション
(日比崎小学校合唱団 唄:「花」)

記念式典の後、しまなみ交流館西側植樹帯で記念植樹を行いました。(記念樹:カワヅザクラ)



大いに盛り上がりました。



交流レセプションの様子



多くの皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。
今回の大会のテーマは「ONE尾道」。
花を植え、育てる取り組みを通じて、「花いっぱいの心」が多くの市民の心に深く根づき、子どもたちを中心とした次世代の育成や、潤いと安らぎの実感できる地域づくりの実現に向け、「花いっぱい運動」の推進を図ってまいります。

第44号
発行日 平成30年9月
全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18
Mウイング2F
TEL 0266313213
FAX 0266313211